

第22回 香川県立病院経営評価委員会会議次第

日 時：令和 7 年10月23日（木）14時00分～

場 所：香川県庁本館12階 第1・2会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

- （1）令和 6 年度県立病院事業会計決算見込みについて
- （2）第 4 次県立病院中期経営目標及び中期実施計画の取組状況について
- （3）第 5 次県立病院中期経営目標骨子(案)について〔報告〕
- （4）その他

4 閉 会

〔配布資料〕

- ・（資料 1）令和 6 年度県立病院事業会計決算見込みの概要と中期実施計画の
取組状況
- ・（資料 2）第 5 次県立病院中期経営目標骨子(案)

香川県立病院経営評価委員会委員

役 職	氏 名	職 業 等
会 長	<small>くめがわ はじめ</small> 久米川 啓	一般社団法人香川県医師会 会長
委 員	<small>おかざき み え こ</small> 岡崎 美恵子	公認会計士
〃	<small>さなぎ すずむ</small> 佐柳 進	特定医療法人茜会 よしみず病院 顧問
〃	<small>たにだ かずひさ</small> 谷田 一久	東京都立大学客員教授
〃	<small>にしむら と し こ</small> 西村 登志子	香川県母子愛育連合会 副会長
〃	<small>まなべ ようこ</small> 真鍋 洋子	アイル・パートナーズ株式会社 代表取締役会長
〃	<small>やまもと たかゆき</small> 山本 隆之	公認会計士

(敬称略、委員は五十音順)

令和 6 年度県立病院事業会計決算見込みの概要と 中期実施計画の取組状況

●令和 6 年度県立病院事業会計決算見込みの概要・・・・・・・・・・ P 1

（参考）香川県立病院の現状とこれまでの取組み・・・・・・・・ P 3

●中期実施計画の取組状況・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5

病院局・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5

中央病院・・・・・・・・・・・・・・・・ P 11

丸亀病院・・・・・・・・・・・・・・・・ P 19

白鳥病院・・・・・・・・・・・・・・・・ P 27

令和6年度県立病院事業会計決算見込みの概要

① 収益的収支の状況 (消費税抜、単位:百万円、%)

区 分		令和6年度	令和5年度	増 減	伸 率
病院事業収益	総 収 益	27,710	27,704	6	0.0
	医業収益	24,076	23,721	355	1.5
	うち入院収益	15,845	15,286	559	3.7
	うち外来収益	7,022	7,157	△ 135	△ 1.9
	医業外収益	3,626	3,969	△ 343	△ 8.6
	うち一般会計繰入金	2,305	2,192	113	5.2
	うち他会計補助金	11	23	△ 12	△ 52.2
	特別利益	8	14	△ 6	△ 42.9
病院事業費用	総 費 用	30,356	29,570	786	2.7
	医業費用	28,935	28,091	844	3.0
	うち給与費	14,541	14,027	514	3.7
	うち退職給付費	1,087	1,090	△ 3	△ 0.3
	うち材料費	8,112	7,982	130	1.6
	うち経費	4,230	4,133	97	2.3
	うち減価償却費	1,769	1,703	66	3.9
	医業外費用	1,399	1,367	32	2.3
	特別損失	22	112	△ 90	△ 80.4
総 収 支		△ 2,646	△ 1,866	△ 780	
累積欠損金		△ 5,757	△ 3,111	△ 2,646	

② 病院ごとの収支状況 (単位:百万円)

病 院 名	項 目	令和6年度	令和5年度	増減	主 な 増 減 要 因
中央病院	総収益	23,627	23,550	77	<収益> ・入院収益 +643 ・外来収益 △99 ・他会計補助金 △ 6
	総費用	25,107	24,465	642	<費用> ・給 与 費 +444 ・材 料 費 +173 ・経 費 +32
	総収支	△ 1,480	△ 915	△ 565	
丸亀病院	総収益	1,526	1,534	△ 8	<収益> ・入院収益 △13 ・外来収益 +5 ・他会計補助金 △ 3
	総費用	1,944	1,906	38	<費用> ・給 与 費 +10 ・材 料 費 △2 ・経 費 +28
	総収支	△ 418	△ 372	△ 46	
白鳥病院	総収益	2,557	2,620	△ 63	<収益> ・入院収益 △71 ・外来収益 △41 ・他会計補助金 △ 3
	総費用	3,305	3,199	106	<費用> ・給 与 費 +60 ・材 料 費 △41 ・経 費 +37
	総収支	△ 748	△ 579	△ 169	

③ 資金収支の状況 (単位:百万円)

収益的収支 (a)	損益勘定留保資金 (b)	資本的収支 (c)	単年度資金収支 (d)=(a)+(b)+(c)
△ 2,646	982	△ 807	△ 2,471

※損益勘定留保資金は、減価償却費や長期前受金戻入など、現金の収入・支出を伴わないもの

④ 患者数・診療単価・主な指標の状況

区 分	入 院									外 来						主な指標			
	延患者数(人)			稼働病床利用率 (%)			診療単価 (円)			延患者数 (人)			診療単価 (円)			項目	令和6年度	令和5年度	R6計画
	令和6年度	令和5年度	増 減	令和6年度	令和5年度	増 減	令和6年度	令和5年度	増 減	令和6年度	令和5年度	増 減	令和6年度	令和5年度	増 減	総収支 (百万円)	△ 2,646	△ 1,866	△ 612
中 央 病 院	138,708	134,494	4,214	71.3	68.9	2.4	100,772	99,149	1,623	225,491	228,338	△ 2,847	27,166	27,261	△ 95	経常収支比率(%)	91.3	94.0	97.8
丸 亀 病 院	30,874	32,937	△ 2,063	54.2	57.7	△ 3.5	18,166	17,426	740	29,259	29,196	63	9,022	8,864	158	医業収支比率(%)	83.2	84.4	87.6
白 鳥 病 院	30,312	29,509	803	56.1	54.5	1.6	43,089	46,680	△ 3,591	63,991	64,233	△ 242	9,879	10,477	△ 598	人件費比率 (%)	55.9	54.5	54.4
合 計	199,894	196,940	2,954	65.4	64.3	1.1	79,267	77,620	1,647	318,741	321,767	△ 3,026	22,030	22,241	△ 211	参考：総収支 (6年度2月補正比)	R6決算 (税抜) △ 2,646	2月補正 (税込) △ 3,494	増減 848

参考 香川県立病院の現状とこれまでの取組

(1) 香川県立病院の現状等

令和7年3月31日現在

項 目	中央病院 (県の基幹病院)	丸亀病院 (県の精神医療の基幹病院)	白鳥病院 (特色ある地域の中核病院)
診療科目	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、脳神経内科、血液内科、肝臓内科、緩和ケア内科、腫瘍内科、糖尿病内科、外科、頭頸(けい)部外科、呼吸器外科、消化器外科、心臓血管外科、脳神経外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、形成外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科、救急科 (33科)	内科、心療内科、思春期心療内科、精神科、リハビリテーション科、歯科 (6科)	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、外科、心臓血管外科、整形外科、小児科、泌尿器科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科 (13科)
許可病床数	一般 533 床 (うち結核 5 床、感染症 2 床)	精神 215 床	一般 148 床
主な指定等	<ul style="list-style-type: none"> ・救命救急センター ・救急告示病院 ・地域医療支援病院 ・基幹災害拠点病院 ・第一種感染症指定医療機関 ・へき地医療拠点病院 ・へき地医療支援センター ・地域がん診療連携拠点病院 ・がんゲノム医療連携病院 ・DPC適用病院 (特定病院群) ・臨床研修病院 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・応急入院指定病院 ・精神科救急指定病院 ・精神科救急拠点病院 ・医療観察法に基づく指定通院医療機関 ・精神科救急情報センター ・依存症専門医療機関 (アルコール) ・指定自立支援医療機関 ・災害拠点精神科病院 ・広域救護病院 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・救急告示病院 ・へき地医療拠点病院 ・広域救護病院 ・臨床研修病院 (協力型) ・在宅療養支援病院 ・感染症法に基づく第一種／第二種協定指定医療機関 等

(2) 県立病院のこれまでの取組み

[illegible]

中期実施計画の主な取組

病院局

区分	令和6年度の主な取組	令和7年度の主な取組予定
1. 良質な医療サービスの提供	①医療機能の充実 ②地域連携の充実 ・ 県立病院間連携の促進(診療応援の充実) ③医療の安全と質の向上 ・ 認定看護師の育成 ・ 医療安全研修会の開催 ④患者サービスの向上 ・ 患者満足度調査の実施 ⑤地域医療への貢献	①医療機能の充実 ②地域連携の充実 ・ 県立病院間連携の促進(診療応援の充実) ③医療の安全と質の向上 ・ 認定看護師の育成 ・ 医療安全研修会の開催 ④患者サービスの向上 ・ 患者満足度調査の実施 ⑤地域医療への貢献
2. 医療人材の確保・育成	①医師の確保・育成 ・ 白鳥病院の医師確保(寄附講座の設置) ②医療スタッフの確保・育成 ・ 採用試験の充実(募集時期の前倒し、大阪会場での開催) ・ 専門看護師の長期研修派遣 ・ 看護学生を対象としたインターンシップ、Web説明会の実施、県立保健医療大学との連携強化 ・ 新卒看護師の離職防止対策(研修期間の見直しと研修内容の強化) など ③事務職員の育成 ・ 3病院の経営分析と改善策の共同立案 ④勤務環境等の改善・充実 ・ 職員満足度調査の実施、ワークライフバランスの推進 ・ オンライン看護手順の導継続 ・ 院内保育所の充実(定員拡大、夜間保育回数増) ・ 離職防止策の充実 ・ 病棟看護師の業務改善(病院局と中央病院の連携による超過勤務の抑制等)	①医師の確保・育成 ・ 白鳥病院の医師確保(寄附講座の設置) ②医療スタッフの確保・育成 ・ 採用試験の充実(新たな試験区分(カムバック採用、職務経験者採用)の創設) ・ 看護学生を対象としたインターンシップ、Web説明会の実施、県立保健医療大学との連携強化 ・ 新卒看護師の離職防止対策の強化 ・ 専門看護師の長期研修派遣 など ③事務職員の育成 ・ 3病院の経営分析と改善策の共同立案 ④勤務環境等の改善・充実 ・ 職員満足度調査の実施、ワークライフバランスの推進 ・ オンライン看護手順の継続 ・ 院内保育所の充実 ・ 離職防止策の充実 ・ 病棟看護師の業務改善(病院局と中央病院の連携による超過勤務の抑制等)
3. 災害等への対応力の強化	①感染症対策の強化 ・ 新型コロナウイルス感染症対策の実施 ②大規模災害への対応力の強化 ・ 災害時備蓄物資等の計画的な整備 ・ 災害時連絡体制の整備・強化	①感染症対策の強化 ・ 新型コロナウイルス感染症対策の実施 ②大規模災害への対応力の強化 ・ 災害時備蓄物資等の計画的な整備 ・ 災害時連絡体制の整備・強化
4. 安定的な病院経営の確立	①経営力の強化 ・ 経営会議、経営評価委員会の開催 ・ 職員提案の推進、病院事業管理者との意見交換 ②運営体制の強化 ③収益の確保 ・ 一般会計繰入金の確保、補助金等の活用 ・ 新たな施設基準届出に向けた支援 ・ 医療機器の計画的な整備と有効活用 ④費用の適正化 ・ 診療材料の共同購入及び効果検証 ・ 3病院一括の薬価交渉 ・ 委託費の適正化 ⑤資金収支の改善 ・ 未収金の発生防止と回収促進	①経営力の強化 ・ 経営会議、経営評価委員会の開催 ・ 職員提案の推進、病院事業管理者との意見交換 ②運営体制の強化 ③収益の確保 ・ 一般会計繰入金の確保、補助金等の活用 ・ 新たな施設基準届出に向けた支援 ・ 医療機器の計画的な整備と有効活用 ④費用の適正化 ・ 診療材料の共同購入及び効果検証 ・ 3病院一括の薬価交渉 ・ 委託費の適正化 ⑤資金収支の改善 ・ 未収金の発生防止と回収促進

収支計画の達成状況

(「R6計画差」はR6計画額とR6実績額の差、
「R6前年度差」はR5実績額とR6実績額の差を表す。)

病院局

(単位 百万円)

第3次←→第4次											(単位 百万円)
項目	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6計画差	計画差の要因、取組等	
									R6前年度差		
①収益的収支											
収益計 (A)	計画	26,551	26,907	26,749	26,630	26,932	27,209	27,471	501		
	実績	26,548	28,949	29,917	29,899	27,704	27,710		6		
医業収益 (A1)	計画	22,906	23,434	22,205	22,731	23,012	23,276	23,512	800		
	実績	22,591	21,059	23,020	22,810	23,721	24,076		355		
入院収益	計画	15,066	15,581	14,318	14,730	14,941	15,134	15,297	711	中央病院を中心に、高度医療の提供を積極的に行ったことによる診療単価の高い入院患者の確保により1人当たり単価が増加したため	
	実績	14,512	13,591	14,969	14,810	15,286	15,845		559		
外来収益	計画	6,576	6,576	6,651	6,765	6,835	6,906	6,979	116	中央病院を中心に、化学(抗がん剤)療法などにより1人当たりの単価が増加したため	
	実績	6,870	6,352	6,824	6,882	7,157	7,022		△ 135		
その他医業収益	計画	1,264	1,277	1,236	1,236	1,236	1,236	1,236	△ 27		
	実績	1,209	1,116	1,227	1,118	1,278	1,209		△ 69		
一般会計負担金	計画	483	483	570	570	570	570	570	123		
	実績	476	536	524	468	648	693		45		
その他	計画	781	794	666	666	666	666	666	△ 150		
	実績	733	580	703	650	630	516		△ 114		
医業外収益 (A2)	計画	3,641	3,464	4,524	3,899	3,902	3,918	3,891	△ 292		
	実績	3,950	7,286	6,883	7,086	3,969	3,626		△ 343		
一般会計繰入金	計画	2,297	2,141	2,475	2,475	2,474	2,474	2,474	△ 169		
	実績	2,392	2,400	2,329	2,324	2,192	2,305		113		
負担金	計画	2,294	2,138	2,468	2,468	2,468	2,468	2,468	△ 174		
	実績	2,385	2,393	2,322	2,317	2,169	2,294		125		
補助金	計画	3	3	7	7	6	6	6	5		
	実績	7	7	7	7	23	11		△ 12		
長期前受金戻入	計画	796	776	758	878	879	897	870	67		
	実績	805	827	766	888	916	964		48		
その他医業外収益	計画	548	547	1,291	546	549	547	547	△ 190	新型コロナウイルス感染症に係る補助金の交付がなくなったため	
	実績	753	4,059	3,788	3,874	861	357		△ 504		
特別利益	計画	4	9	20	0	18	15	68	△ 7		
	実績	7	604	14	3	14	8		△ 6		

収支計画の達成状況

(「R6計画差」はR6計画額とR6実績額の差、
「R6前年度差」はR5実績額とR6実績額の差を表す。)

病院局

(単位 百万円)

(単位 百万円)										
		第3次←		→第4次						
項目	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6計画差	計画差の要因、取組等
									R6前年度差	
費用計 (B)	計画	27,509	27,269	27,876	27,980	27,685	27,821	27,502	2,535	
	実績	27,910	27,266	28,107	28,769	29,570	30,356		786	
医業費用 (B1)	計画	26,198	25,867	26,591	26,706	26,420	26,567	26,258	2,368	
	実績	26,710	25,630	26,782	27,430	28,091	28,935		844	
給与費	計画	12,407	12,458	13,995	13,878	13,576	13,674	13,353	867	
	実績	12,148	13,590	13,813	13,943	14,027	14,541		514	
退職給付費	計画	1,140	1,191	970	1,007	698	1,007	698	80	
	実績	866	987	1,004	1,035	1,090	1,087		△ 3	
退職給付費以外	計画	11,267	11,267	13,025	12,871	12,878	12,667	12,655	787	人事委員会勧告や会計年度任用職員への勤勉手当の支給開始に伴い支給額が増加したため
	実績	11,282	12,603	12,809	12,908	12,937	13,454		517	
材料費	計画	6,827	6,827	7,018	7,100	7,138	7,190	7,242	922	
	実績	7,206	6,686	7,543	7,501	7,982	8,112		130	
薬品費	計画	3,586	3,586	3,796	3,852	3,886	3,922	3,957	341	物価高騰の影響及び化学治療の提供により薬品使用量が増加したため
	実績	3,790	3,534	3,868	3,983	4,257	4,263		6	
診療材料費	計画	3,185	3,185	3,183	3,209	3,213	3,229	3,246	588	物価高騰の影響及び高度医療の提供により診療材料使用量が増加したため
	実績	3,378	3,122	3,645	3,485	3,690	3,817		127	
経費	計画	4,666	4,665	3,772	3,772	3,742	3,722	3,722	508	物価高騰、人件費上昇などに伴い、委託料等が増加した。
	実績	5,074	3,553	3,709	4,082	4,133	4,230		97	
減価償却費	計画	2,081	1,635	1,470	1,679	1,677	1,711	1,661	58	
	実績	2,081	1,625	1,456	1,690	1,703	1,769		66	
その他医業費用	計画	217	282	336	277	287	270	280	13	
	実績	201	176	261	214	246	283		37	
医業外費用 (B2)	計画	1,151	1,242	1,272	1,262	1,253	1,242	1,232	157	
	実績	1,178	1,230	1,317	1,330	1,367	1,399		32	
特別損失	計画	160	160	13	12	12	12	12	10	
	実績	22	406	8	9	112	22		△ 90	
医業収支 (A1-B1)	計画	△ 3,292	△ 2,433	△ 4,386	△ 3,975	△ 3,408	△ 3,291	△ 2,746	△ 1,568	
	実績	△ 4,119	△ 4,571	△ 3,762	△ 4,620	△ 4,370	△ 4,859		△ 489	
経常収支 (A1+A2)-(B1+B2)	計画	△ 802	△ 211	△ 1,134	△ 1,338	△ 759	△ 615	△ 87	△ 2,017	
	実績	△ 1,347	1,485	1,804	1,136	△ 1,768	△ 2,632		△ 864	
総収支 (X=A-B)	計画	△ 958	△ 362	△ 1,127	△ 1,350	△ 753	△ 612	△ 31	△ 2,034	
	実績	△ 1,362	1,683	1,810	1,130	△ 1,866	△ 2,646		△ 780	

収支計画の達成状況

(「R6計画差」はR6計画額とR6実績額の差、
「R6前年度差」はR5実績額とR6実績額の差を表す。)

病院局

(単位 百万円)

第3次←→第4次											(単位 百万円)
項目	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6計画差	計画差の要因、取組等	
									R6前年度差		
(損益勘定留保資金) (Y)	計画	1,384	1,018	888	937	924	928	864	54		
	実績	1,368	878	847	924	989	982		△ 7		
②資本的収支											
収入計 (C)	計画	1,192	2,604	3,124	1,547	1,709	1,345	1,496	985		
	実績	1,093	1,757	3,061	1,640	1,868	2,330		462		
企業債	計画	585	1,852	2,124	701	842	462	583	936	中央病院において、手術支援ロボット装置(H26.6取得)やハイブリッド手術装置(H26.3取得)等を更新したため	
	実績	523	568	2,179	711	961	1,398		437		
長期借入金	計画	103	114	58	72	71	71	72	△ 26		
	実績	31	15	19	44	30	45		15		
一般会計繰入金	計画	503	637	773	773	795	810	840	76		
	実績	509	751	863	885	876	886		10		
負担金	計画	493	621	745	749	771	785	814	15		
	実績	491	724	658	756	777	800		23		
補助金	計画	10	16	28	24	24	25	26	61		
	実績	18	27	205	129	99	86		△ 13		
その他	計画	1	1	169	1	1	2	1	△ 1		
	実績	30	423	0	0	1	1		0		
支出計 (D)	計画	1,723	3,256	3,843	2,311	2,494	2,145	2,321	992		
	実績	1,614	2,150	3,770	2,383	2,685	3,137		452		
建設改良費	計画	730	2,009	2,348	805	945	566	687	966	中央病院において、手術支援ロボット装置(H26.6取得)やハイブリッド手術装置(H26.3取得)等を更新したため	
	実績	623	831	2,449	867	1,124	1,532		408		
企業債償還金	計画	910	1,160	1,402	1,419	1,467	1,512	1,582	45		
	実績	910	1,223	1,233	1,437	1,491	1,557		66		
その他	計画	83	87	93	87	82	67	52	△ 19		
	実績	81	96	88	79	70	48		△ 22		
収支差し引き (Z=C-D)	計画	△ 531	△ 652	△ 719	△ 764	△ 785	△ 800	△ 825	△ 7		
	実績	△ 521	△ 393	△ 709	△ 743	△ 817	△ 807		10		
③単年度資金収支											
単年度資金収支 (X+Y+Z)	計画	△ 105	4	△ 958	△ 1,177	△ 614	△ 484	8	△ 1,987		
	実績	△ 515	2,168	1,948	1,311	△ 1,694	△ 2,471		△ 777		

中期指標の達成状況

(評価基準)

A R7計画以上
B 対象年度計画以上
C 前年度実績以上

D R1実績以上
E R1実績未満

※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

病院局

第3次←→第4次 (太枠: 目標指標)

No.	項目	単位	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6計画差	評価	評価	評価	評価	計画差の要因、取組み等
											R6前年度差	R3	R4	R5	R6	
1. 良質な医療サービスの提供																
③医療の安全と質の向上																
11	認定看護師数	人	計画	27	29	26	31	33	34	37	1	B	B	B	B	【R6年度】 ・+3名新規取得 (クリティカルケア(中央)1名、感染管理(中央、白鳥)2名) ・△2名退職等
			実績	25	25	28	31	34	35	1						
12	医療安全研修受講率	%	計画	95.0	100.0	60.0	70.0	80.0	90.0	100.0	5.5	－	C	B	B	・R7.3.3実施(Web研修)
			実績	中止 (コロナ)	57.6	23.5	43.6	93.6	95.5	1.9						
④患者サービスの向上																
15	患者満足調査による満足度(入院)	%	計画	89.5	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	4.0	－	A	A	A	・総合評価は、計画値である90%を達成している。 ・最も満足度が高かったのは「医師からの手術等の説明(97%)」で、最も満足度が低かったのは「入院中の食事(75%)」であった。
			実績	91.0	中止 (コロナ)	中止 (コロナ)	95.0	91.0	94.0	3.0						
16	患者満足調査による満足度(外来)	%	計画	89.5	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	0.0	－	A	A	A	・総合評価は、計画値である90%を達成している。 ・最も満足度が高かったのは「看護師・医師の接し方(93%)」で、最も満足度が低かったのは「家族等への紹介(76%)」であった。
			実績	90.0	中止 (コロナ)	中止 (コロナ)	92.0	93.0	90.0	△ 3.0						
2. 医療人材の確保・育成																
①医師の確保・育成																
19	医師充足率	%	計画	98.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	A	A	A	A	・全体数における充足率は100%だが、麻酔科や白鳥病院の内科などは依然として不足している。
			実績	98.2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0						
②医療スタッフの確保・育成																
21	新卒看護師の離職率	%	計画	9.5	8.5	15.8	14.1	12.5	10.9	9.3	△ 5.0	B	E	B	A	・新卒・新任看護師が先輩看護師とペアで業務を行う「ペア体制」を導入し、看護技術研修の日数を拡充するなど新任者の不安解消を図っている。
			実績	13.6	25.5	14.0	30.8	11.8	5.9	△ 5.9						
24	事務職員の育成	人	計画	(新設)	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	－	－	－	－	－	・R5、R6年度に、県立病院課において、3病院の経営分析と改善策の共同立案を実施している。
			実績		継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	－						

中期指標の達成状況

(評価基準)

A R7計画以上

D R1実績以上

B 対象年度計画以上

E R1実績未満

C 前年度実績以上

※減少期待指標は、以上を以下、未滿を超に読み替える。

病院局

第3次←→第4次 (太枠: 目標指標)

No.	項目	単位	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6計画差 R6前年度差	評価 R3	評価 R4	評価 R5	評価 R6	計画差の要因、取組み等
4. 安定的な病院経営の確立																
①経営力の強化																
30	経営会議・経営評価委員会の開催	回	計画	a.経営会議は12回、b.評価委員会は毎年1回開催(R3～継続実施)						—	—	—	—	・経営会議を開催し、経営状況を把握・分析するとともに、経営改善に向け、収支改善に取り組んだ。		
			実績	a.12、b.1	a.12、b.1	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	—	—	—	—			
31	職員提案の実施	件	計画	80	100	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	—	—	—	—	・R6 提案総数35件、うち実施済み・実施中9件 ・例:多目的室の周辺環境を整備し、診療設備が整備された多目的室を有効活用する(丸亀病院)など		
			実績	56	65	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	—	—	—	—			
④費用の適正化																
43	人件費比率(退職給付費を除く) [対医業収益比率]	%	計画	49.2	48.1	58.7	56.6	56.0	54.4	53.8	1.5	B	B	B	E	中央病院を中心に高度医療の積極的な提供に努めたことなどにより医業収益が増加したが、人事委員会勧告の給与増額改定等による人件費増加から、人件費比率は上昇した。
			実績	49.9	59.8	55.6	56.6	54.5	55.9	—	1.4	—	—	—	—	
44	人件費比率 [対医業収益比率]	%	計画	54.2	53.2	63.0	61.1	59.0	58.7	56.8	1.7	B	B	C	E	中央病院を中心に高度医療の積極的な提供に努めたことなどにより医業収益が増加したが、人事委員会勧告の給与増額改定等による人件費増加から、人件費比率は上昇した。
			実績	53.8	64.5	60.0	61.1	59.1	60.4	—	1.3	—	—	—	—	
46	経常収支比率	%	計画	97.1	99.2	95.9	95.2	97.3	97.8	99.7	△ 6.5	A	A	E	E	新型コロナウイルス感染症に係る病床確保補助金等がなくなったことなどにより収入が減少した一方で、人件費、物価高騰等に伴い材料費、委託料等が増加したため、経常収支比率は低下した。
			実績	95.2	105.5	106.4	104.0	94.0	91.3	—	△ 2.7	—	—	—	—	
47	医業収支比率	%	計画	87.4	90.6	83.5	85.1	87.1	87.6	89.5	△ 4.4	B	E	C	E	高度医療の提供などにより医業収益は増加したものの、それを上回る人件費、物価高騰に伴う材料費・委託料等の増加により、医業収支比率は低下した。
			実績	84.6	82.2	86.0	83.2	84.4	83.2	—	△ 1.2	—	—	—	—	
48	材料費対医業収益比率	%	計画	29.8	29.1	31.6	31.2	31.0	30.9	30.8	2.8	E	E	E	E	高額な診療材料の使用割合が増加したことにより、比率は上昇した。
			実績	31.9	31.7	32.8	32.9	33.6	33.7	—	0.1	—	—	—	—	
49	うち 薬品費対医業収益比率	%	計画	15.7	15.3	17.1	16.9	16.9	16.8	16.8	0.9	A	E	E	C	医業収益が増加した一方で、高額な抗がん剤等の使用量が減少し、薬品費は微増にとどまったため、比率は低下した。
			実績	16.8	16.8	16.8	17.5	17.9	17.7	—	△ 0.2	—	—	—	—	
50	うち 診療材料費医業収益比率	%	計画	13.9	13.6	14.3	14.1	14.0	13.9	13.8	2.0	E	C	E	E	中央病院を中心に高額材料を使用する高度治療の割合が増加したことにより、医業収益に占める材料費(診療材料費)の比率は上昇した。
			実績	15.0	14.8	15.8	15.3	15.6	15.9	—	0.3	—	—	—	—	
⑤資金収支の改善																
51	単年度資金収支	百万円	計画	△ 105	4	△ 958	△ 1,177	△ 614	△ 484	8	△ 1,987	A	A	E	E	新型コロナウイルス感染症に係る病床確保補助金が多くなったことによる収益の減少や、物価高騰等による費用の増加があったため。
			実績	△ 515	2,168	1,948	1,311	△ 1,694	△ 2,471	—	△ 777	—	—	—	—	

中期実施計画の主な取組

中央病院

区分	令和6年度の主な取組	令和7年度の主な取組予定
1 良質な医療サービスの提供	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術体制の効率化 ・効率的な病床運用 ・がん診療体制の充実 ・心臓病・脳卒中医療(脳心連携)の充実 <p>②地域連携の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者サポートセンターを活用した効率的な入退院支援 ・かかりつけ医機能促進、機能分化 <p>③医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリニカルパスの作成数・適用率の向上 ・医療の質評価指標の活用 ・抗菌薬の適正使用の徹底 <p>④患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来待ち時間短縮の取組み <p>⑤地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療セミナーの開催 ・他医療機関への医師派遣 ・病院祭の開催 	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術体制の効率化、臨床工学技士による麻酔アシスタントの配置・活用 ・救急患者受入体制の充実 ・効率的な病床運用 ・がん診療体制の充実 ・心臓病・脳卒中医療(脳心連携)の充実 <p>②地域連携の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療機関訪問による連携強化 ・救急患者連携搬送の取組強化 <p>③医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリニカルパスの作成数・適用率の向上 ・医療の質評価指標の活用 ・RRSおよびiSASの取組強化 <p>④患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来呼び出し状況確認サービスの利用促進 <p>⑤地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療セミナーの開催 ・他医療機関への医師派遣 ・病院祭の開催
2 医療人材の確保・育成	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップ支援の充実 ・学生実習・見学受入れの継続 <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップ支援の充実 ・学生実習・見学受入れの継続 ・マネジメント人材支援 <p>③事務職員の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マネジメントのできる事務職員の確保・育成 <p>④勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革を実現するための体制の整備の継続 ・ハラスメント対策の強化 ・看護業務に関する検討小委員会の設置による看護業務の効率化 	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップ支援の充実 ・学生実習・見学受入れの継続 <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師採用の拡充 ・学生実習・見学受入れの継続 ・日本医療マネジメント学会への参加支援 <p>③事務職員の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マネジメントのできる事務職員の確保・育成 <p>④勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革を実現するための体制の整備の継続 ・ハラスメント対策の強化 ・看護業務に関する検討小委員会の設置による看護業務の効率化
3 感染症・災害等への対応力の強化	<p>①感染症対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症専門医による研修会の開催 ・新興感染症発生時に関するBCP計画策定 <p>②大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の定期的実施 ・DMAT(災害派遣医療チーム)数の維持 	<p>①感染症対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新興感染症発生時に関するBCP計画に基づく関係機関との訓練実施 <p>②大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の定期的実施 ・DMAT(災害派遣医療チーム)数の維持
4 安定的な病院経営の確立	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各診療科・部署毎の目標・計画の作成及び院長ヒアリングの実施 ・DPC・QI・医事データ等の様々なデータを分析し、フィードバックするための組織の充実 <p>②収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな施設基準の取得 ・新規入院患者数の増加 <p>③費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的施設設備建設等を検討する委員会の継続 ・費用対効果を踏まえた調達の推進(薬剤の適正使用、委託費適正化、共同購入活用等) 	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各診療科長による目標管理(各診療科・部署毎の目標・計画の作成及び院長ヒアリングの実施) ・DPC・QI・医事データ等の様々なデータを分析し、フィードバックするための組織の充実 <p>②収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな施設基準の取得 ・新規入院患者数の増加 <p>③費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的施設設備建設等を検討する委員会の継続 ・費用対効果を踏まえた調達の推進(薬剤の適正使用、委託費適正化、共同購入活用等)

収支計画の達成状況

(「R6計画差」はR6計画額とR6実績額の差、
「R6前年度差」はR5実績額とR6実績額の差を表す。)

中央病院

(単位 百万円)

(単位 百万円)										
項目	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6計画差	計画差の要因、取組等
									R6前年度差	
①収益的収支										
収益計 (A)	計画	21,670	21,994	22,137	22,057	22,317	22,536	22,769	1,091	
	実績	22,340	24,118	25,389	25,550	23,550	23,627		77	
医業収益 (A1)	計画	19,010	19,494	18,890	19,283	19,539	19,776	19,985	1,385	
	実績	19,387	18,077	19,891	19,801	20,682	21,161		479	
入院収益	計画	12,693	13,164	12,135	12,429	12,622	12,798	12,943	1,180	高額手術の増など高度医療の提供を積極的に行ったことによる診療単価の高い入院患者の確保により1人当たり単価が増加したため
	実績	12,494	11,692	12,911	12,918	13,335	13,978		643	
外来収益	計画	5,238	5,238	5,680	5,779	5,842	5,903	5,967	223	通院治療センターでの化学(抗がん剤)療法などにより1人当たりの単価が増加したため
	実績	5,845	5,418	5,916	5,928	6,225	6,126		△ 99	
その他医業収益	計画	1,079	1,092	1,075	1,075	1,075	1,075	1,075	△ 18	
	実績	1,048	967	1,064	955	1,122	1,057		△ 65	
一般会計負担金	計画	401	401	501	501	501	501	501	118	
	実績	405	470	460	394	571	619		48	
その他	計画	678	691	574	574	574	574	574	△ 136	
	実績	643	497	604	561	551	438		△ 113	
医業外収益 (A2)	計画	2,660	2,500	3,240	2,774	2,766	2,751	2,725	△ 286	
	実績	2,949	5,712	5,498	5,747	2,862	2,465		△ 397	
一般会計繰入金	計画	1,529	1,374	1,513	1,513	1,512	1,512	1,512	△ 140	
	実績	1,594	1,531	1,447	1,416	1,281	1,372		91	
負担金	計画	1,526	1,371	1,506	1,506	1,506	1,506	1,506	△ 143	
	実績	1,587	1,524	1,440	1,409	1,266	1,363		97	
補助金	計画	3	3	7	7	6	6	6	3	
	実績	7	7	7	7	15	9		△ 6	
長期前受金戻入	計画	628	623	605	741	732	718	692	46	
	実績	636	669	610	753	764	764		0	
その他医業外収益	計画	503	503	1,122	520	522	521	521	△ 192	新型コロナウイルス感染症に係る補助金の交付がなくなったため
	実績	719	3,512	3,441	3,578	817	329		△ 488	
特別利益	計画	0	0	7	0	12	9	59	△ 8	
	実績	4	329	0	2	6	1		△ 5	

高額手術の増など高度医療の提供を積極的に行ったことによる
診療単価の高い入院患者の確保により1人当たり単価が増加したため

通院治療センターでの化学(抗がん剤)療法などにより1人当たりの
単価が増加したため

新型コロナウイルス感染症に係る補助金の交付がなくなったため

収支計画の達成状況

(「R6計画差」はR6計画額とR6実績額の差、
「R6前年度差」はR5実績額とR6実績額の差を表す。)

中央病院

(単位 百万円)

第3次←→第4次

項目	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6計画差 R6前年度差	計画差の要因、取組等
費用計 (B)	計画	22,383	22,144	22,854	23,011	22,765	22,787	22,526	2,320	
	実績	23,119	22,362	23,266	23,829	24,465	25,107		642	
医業費用 (B1)	計画	21,269	20,952	21,763	21,928	21,690	21,720	21,467	2,168	
	実績	22,093	20,987	22,123	22,672	23,226	23,888		662	
給与費	計画	9,788	9,829	11,117	11,010	10,768	10,796	10,540	765	
	実績	9,681	10,808	11,001	11,021	11,117	11,561		444	
退職給付費	計画	912	953	776	805	558	805	558	65	
	実績	693	790	804	828	872	870		△ 2	
退職給付費以外	計画	8,876	8,876	10,341	10,205	10,210	9,991	9,982	700	人事委員会勧告や会計年度任用職員への勤勉手当の支給開始に伴い支給額が増加したため
	実績	8,988	10,018	10,197	10,193	10,245	10,691		446	
材料費	計画	5,901	5,901	6,323	6,401	6,449	6,498	6,548	1,008	
	実績	6,525	6,028	6,917	6,901	7,333	7,506		173	
薬品費	計画	3,091	3,091	3,387	3,442	3,476	3,511	3,546	401	物価高騰の影響及び化学(抗がん剤)治療の提供により薬品使用量(中枢神経系用薬など)が増加したため
	実績	3,406	3,161	3,524	3,634	3,890	3,912		22	
診療材料費	計画	2,759	2,759	2,902	2,925	2,939	2,953	2,968	613	物価高騰の影響及び高度医療の提供により診療材料使用量(大動脈ステントグラフトなど)が増加したため
	実績	3,086	2,842	3,367	3,239	3,413	3,566		153	
経費	計画	3,661	3,660	2,887	2,887	2,857	2,837	2,837	368	
	実績	3,989	2,710	2,834	3,151	3,173	3,205		32	
減価償却費	計画	1,723	1,301	1,153	1,402	1,385	1,357	1,308	22	
	実績	1,722	1,289	1,138	1,418	1,408	1,379		△ 29	
その他医業費用	計画	196	261	283	228	231	232	234	5	
	実績	176	152	233	181	195	237		42	
医業外費用 (B2)	計画	964	1,042	1,080	1,072	1,064	1,056	1,048	152	
	実績	1,006	1,047	1,136	1,148	1,179	1,208		29	
特別損失	計画	150	150	11	11	11	11	11	0	
	実績	20	328	7	9	60	11		△ 49	
医業収支 (A1-B1)	計画	△ 2,259	△ 1,458	△ 2,873	△ 2,645	△ 2,151	△ 1,944	△ 1,482	△ 783	
	実績	△ 2,706	△ 2,910	△ 2,232	△ 2,871	△ 2,544	△ 2,727		△ 183	
経常収支 (A1+A2)-(B1+B2)	計画	△ 563	0	△ 713	△ 943	△ 449	△ 249	195	△ 1,221	
	実績	△ 763	1,755	2,130	1,728	△ 861	△ 1,470		△ 609	
総収支 (X=A-B)	計画	△ 713	△ 150	△ 717	△ 954	△ 448	△ 251	243	△ 1,229	
	実績	△ 779	1,756	2,123	1,721	△ 915	△ 1,480		△ 565	

収支計画の達成状況

(「R6計画差」はR6計画額とR6実績額の差、
「R6前年度差」はR5実績額とR6実績額の差を表す。)

中央病院

(単位 百万円)

第3次←→第4次

項目	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6計画差 R6前年度差	計画差の要因、取組等
(損益勘定留保資金) (Y)	計画	1,185	832	702	766	747	738	669	22	
	実績	1,164	694	678	763	768	760		△ 8	
②資本的収支										
収入計 (C)	計画	891	2,383	2,704	1,112	1,117	1,119	1,129	603	
	実績	784	1,244	2,712	1,170	1,068	1,722		654	
企業債	計画	462	1,800	1,965	390	390	408	390	604	手術支援ロボット装置(H26.6取得)やハイブリッド手術装置(H26.3取得)等を更新したため
	実績	390	501	2,043	391	338	1,012		674	
長期借入金	計画	86	97	43	60	60	60	60	△ 31	
	実績	24	10	14	32	19	29		10	
一般会計繰入金	計画	343	486	623	662	667	650	679	30	
	実績	350	586	655	747	711	680		△ 31	
負担金	計画	333	470	596	638	643	626	654	△ 1	
	実績	332	559	510	646	649	625		△ 24	
補助金	計画	10	16	27	24	24	24	25	31	
	実績	18	27	145	101	62	55		△ 7	
その他	計画	0	0	73	0	0	1	0	0	
	実績	20	147	0	0	0	1		1	
支出計 (D)	計画	1,259	2,880	3,316	1,766	1,775	1,759	1,796	595	
	実績	1,142	1,707	3,272	1,805	1,757	2,354		597	
建設改良費	計画	585	1,935	2,118	482	482	501	482	598	手術支援ロボット装置(H26.6取得)やハイブリッド手術装置(H26.3取得)等を更新したため
	実績	470	701	2,247	507	453	1,099		646	
企業債償還金	計画	608	877	1,123	1,215	1,227	1,206	1,271	13	
	実績	608	929	954	1,234	1,248	1,219		△ 29	
その他	計画	66	68	75	69	66	52	43	△ 16	
	実績	64	77	71	64	56	36		△ 20	
収支差し引き (Z=C-D)	計画	△ 368	△ 497	△ 612	△ 654	△ 658	△ 640	△ 667	8	
	実績	△ 358	△ 463	△ 560	△ 635	△ 689	△ 632		57	
③単年度資金収支										
単年度資金収支 (X+Y+Z)	計画	104	185	△ 627	△ 842	△ 359	△ 153	245	△ 1,199	
	実績	27	1,987	2,241	1,849	△ 836	△ 1,352		△ 516	

中期指標の達成状況

(評価基準)

A R7計画以上

B 対象年度計画以上

C 前年度実績以上

D R1実績以上

E R1実績未満

※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

中央病院

第3次←→第4次 (太枠: 目標指標)

No.	項目	単位	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6計画差	評価 R3	評価 R4	評価 R5	評価 R6	計画差の要因、取組等	
											R6前年度差						
1 良質な医療サービスの提供																	
①医療機能の充実																	
1	救急車・ヘリ受入（搬入）患者数	人	計画	3,650	3,700	3,300	3,350	3,400	3,450	3,540	629	B	A	A	A	県全体の救急車搬送件数が増加しており、中央病院においても、積極的な受入れを行ったため。	
			実績	3,727	3,171	3,442	3,550	3,919	4,079	160							
	2	高額手術件数（10,000点以上）	件	計画	5,490	5,640	5,500	5,600	5,700	5,850	6,000	60	B	B	B		B
				実績	5,983	5,440	5,841	5,798	5,787	5,910	123						
②地域連携の充実																	
7	患者紹介率	%	計画	78.0	80.0	84.0	83.0	82.0	81.0	80.0	15.8	A	A	A	A	アフターコロナにおける患者の受療行動の変容等により、1、2次医療機関との機能分化が進み、紹介患者の占める割合が増加したため。	
			実績	76.2	88.6	90.8	92.4	94.8	96.8	2.0							
	8	初診紹介患者数	人	計画	（新設）	—	12,300	12,400	12,600	12,800	13,000	△ 522	A	B	B		E
				実績	（新設）	12,251	13,110	12,513	12,950	12,278	△ 672						
9	患者逆紹介率	%	計画	79.0	80.0	95.0	91.0	88.0	86.0	84.0	24.4	A	A	A	A		
			実績	83.5	99.3	101.0	110.5	106.6	110.4	3.8							
③医療の安全と質の向上																	
13	インシデント報告件数	件	計画	3,110	3,110	3,450	3,500	3,550	3,600	3,700	△ 374	A	E	E	E	医療安全研修会等を通じて、報告推進の啓発を継続的に実施し、計画値は下回った。	
			実績	3,686	3,419	3,874	3,306	3,231	3,226	△ 5							
14	クリニカルパス適用率	%	計画	56.0	58.0	50.4	50.6	50.8	50.9	51.0	5.6	B	A	A	A		
			実績	49.3	50.2	50.7	52.0	53.4	56.5	3.1							
④患者サービスの向上																	
17	外来待ち時間の短縮 （予約時間終期～診療開始）	分	計画	14	14	20	20	20	20	20	1	D	C	D	C	外来呼び出し状況確認サービスの利用促進により、外来待ち時間の短縮を図ったが計画値は達成できなかった。	
			実績	24	21	23	22	24	21	△ 3							
⑤地域医療への貢献																	
18	公開講座等開催回数	回	計画	22	22	4	8	20	30	42	△ 4	B	B	C	C		医療セミナー、出前講座の開催に積極的に取り組んだが計画値は下回った。
			実績	41	11	8	14	16	26	10							
2 医療人材の確保・育成																	
①医師の確保・育成																	
20	臨床研修医数	人	計画	（新設）	—	26	26	26	26	26	1	A	A	A	A	医学生の見学等積極的な受入れを行ったため。	
			実績	（新設）	26	28	28	28	27	△ 1							
②医療スタッフの確保・育成																	
22	実習生受入人数（看護師）	人	計画	500	500	0	0	150	300	400	72	B	B	B	B		看護学生の見学等積極的な受入れを行ったため。
			実績	398	0	264	147	270	372	102							
23	実習生受入人数（その他）	人	計画	70	70	20	20	50	70	102	△ 27	B	B	C	E		
			実績	101	28	20	46	46	43	△ 3							

中期指標の達成状況

(評価基準)

A R7計画以上

B 対象年度計画以上

C 前年度実績以上

D R1実績以上

E R1実績未満

※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

中央病院

第3次←→第4次 (太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6計画差 R6前年度差	評価 R3	評価 R4	評価 R5	評価 R6	計画差の要因、取組等
3 感染症・災害等への対応力の強化																
①感染症対策の強化																
25	感染症に対応する体制の確保	－	計画	(新設)	－	確保	確保	確保	確保	確保	－	A	A	A	A	第1種感染症指定医療機関として感染症病床を確保し、一類感染症などの感染症に対応する体制を確保していたため。
			実績	(新設)	確保	確保	確保	確保	確保	－						
26	感染症専門医による研修会開催件数	件	計画	2	2	1	2	3	4	5	7	B	A	A	A	研修会の開催に積極的に取り組んだため。
			実績	13	1	3	9	12	11		△ 1					
②大規模災害への対応力の強化																
27	DMAT(災害派遣医療チーム)数	チーム	計画	4	4	6	6	6	6	6	2	A	A	A	A	計画以上の8チーム数を確保しており、スタッフの育成を継続していたため。
			実績	7	6	7	7	8	8		0					
28	業務継続計画(BCP)に沿った研修・訓練の実施数	回	計画	(新設)	－	1	1	1	1	1	4	A	A	A	A	大規模災害への対応力強化として、研修・訓練を計画以上に実施したため。
			実績	(新設)	1	5	3	5	5		0					
29	防災等訓練回数	回	計画	6	6	1	2	3	5	7	1	B	B	B	B	大規模災害への対応力強化として、研修・訓練を実施したため。
			実績	7	1	5	3	5	6		1					
4 安定的な病院経営の確立																
③収益の確保																
32	稼働病床利用率	%	計画	86.8	90.0	73.4	70.9	77.6	78.9	80.0	△ 7.6	C	E	E	C	稼働率の低い診療科の病床を稼働率の高い病床へシフトさせる病床配分の見直しを行うなど、効率的な病床運用を行ったが計画値は下回った。
			実績	80.6	69.3	72.4	69.5	68.9	71.3		2.4					
7	患者紹介率(再掲)	%	計画	78.0	80.0	84.0	83.0	82.0	81.0	80.0	15.8	A	A	A	A	アフターコロナにおける患者の受療行動の変容等により、1、2次医療機関との機能分化が進み、紹介患者の占める割合が増加したため。
			実績	76.2	88.6	90.8	92.4	94.8	96.8		2.0					
9	患者逆紹介率(再掲)	%	計画	79.0	80.0	95.0	91.0	88.0	86.0	84.0	24.4	A	A	A	A	積極的に診療情報提供書に記載するなどして逆紹介が行えているため。
			実績	83.5	99.3	101.0	110.5	106.6	110.4		3.8					
34	入院単価	円	計画	75,494	75,794	84,931	90,064	90,155	90,130	89,885	10,642	A	A	A	A	急性期充実体制加算などの算定を行うとともに、高額手術件数が増加したため。
			実績	80,445	86,766	91,603	95,603	99,149	100,772		1,623					
35	外来単価	円	計画	21,047	21,047	24,062	25,128	24,855	24,598	24,355	2,568	A	A	A	A	通院治療センターにおける高額な抗がん剤を使用した化学療法に加えて高額な生物学的製剤の使用も増加したため。
			実績	22,355	23,846	24,809	25,473	27,261	27,166		△ 95					
36	1日平均入院患者数	人	計画	459	476	392	378	383	389	395	△ 9	C	E	E	C	稼働率の低い診療科の病床を稼働率の高い病床へシフトさせる病床配分の見直しを行うなど、効率的な病床運用を行ったが計画値は下回った。
			実績	424	369	386	370	367	380		13					
37	1日平均外来患者数	人	計画	1,020	1,024	976	947	967	988	1,012	△ 60	B	B	E	E	紹介受診重点医療機関として積極的な受入れに努めているが、1次医療機関からの初診紹介患者数が減少したが計画値は下回った。
			実績	1,089	935	981	958	940	928		△ 12					
38	新入院患者数	人	計画	13,914	14,350	12,875	13,000	13,500	13,700	14,000	△ 775	B	E	C	C	稼働率の低い診療科の病床を稼働率の高い病床へシフトさせる病床配分の見直しを行うなど、効率的な病床運用を行ったが計画値は下回った。
			実績	13,995	12,147	13,197	12,371	12,734	12,925		191					
39	新外来患者数	人	計画	26,840	26,840	26,966	24,000	25,000	26,000	27,000	△ 2,453	C	E	C	E	紹介受診重点医療機関として積極的な受入れに努めているが、1次医療機関からの初診紹介患者数が減少したが計画値は下回った。
			実績	29,863	22,714	24,313	23,427	24,181	23,547		△ 634					

中期指標の達成状況

(評価基準)

A R7計画以上

B 対象年度計画以上

C 前年度実績以上

D R1実績以上

E R1実績未満

※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

中央病院

第3次←→第4次 (太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6計画差 R6前年度差	評価 R3	評価 R4	評価 R5	評価 R6	計画差の要因、取組等
1	救急車・ヘリ受入(搬入)患者数(再掲)	人	計画	3,650	3,700	3,300	3,350	3,400	3,450	3,540	629	B	A	A	A	県全体の救急車搬送件数が増加しており、中央病院においても、積極的な受入れを行ったため。
			実績	3,727	3,171	3,443	3,550	3,919	4,079	160						
40	検診センター検診者数	人	計画	8,837	8,801	3,800	4,500	5,500	7,000	7,200	△ 1,783	B	B	C	C	担当医師が他科と併任しているなど、医師確保不足のため予約枠を増やすことができず、計画値は下回った。
			実績	7,193	3,693	5,147	5,138	5,196	5,217	21						
41	平均在院日数	日	計画	11.4	11.5	10.4	9.8	9.7	9.6	9.5	1	D	E	C	D	クリニカルパスを見直し、平均在院日数の短縮を図ったが計画値は達成できなかった。
			実績	10.7	10.5	10.7	10.9	10.6	10.7	0						
④費用の適正化																
42	後発医薬品割合(数量ベース)	%	計画	70.0	80.0	88.0	88.0	88.0	88.0	88.0	5	A	A	A	A	後発医薬品の発売状況を常時チェックし、使用量の多い薬剤を中心に適切な切替を実施したため。
			実績	88.7	91.3	91.4	91.5	92.9	93.3	0						
43	人件費比率(退職給付費を除く) [対医業収益比率]	%	計画	46.7	45.5	54.7	52.9	52.3	50.5	49.9	0	B	B	A	B	高度医療の積極的な提供に努めたことなどにより医業収益が増加したが、人事委員会勧告の給与増額改定等による人件費増加から、人件費比率は上昇した。
			実績	46.4	55.4	51.3	51.5	49.5	50.5	1						
44	人件費比率 [対医業収益比率]	%	計画	51.5	50.4	58.9	57.1	55.1	54.6	52.7	0	B	B	B	B	高度医療の積極的な提供に努めたことなどにより医業収益が増加したが、人事委員会勧告の給与増額改定等による人件費増加から、人件費比率は上昇した。
			実績	49.9	59.8	55.3	55.7	53.8	54.6	1						
45	人件費比率 [対粗利益比率]	%	計画	(新設)	二	92.1	88.9	85.5	84.5	81.5	4	B	B	C	D	高度医療の積極的な提供に努めたことなどにより粗利が増加したが、人事委員会勧告の給与増額改定等による人件費増加から、人件費比率は上昇した。
			実績	(新設)	93.4	87.9	88.1	87.0	88.7	2						
46	経常収支比率	%	計画	97.5	100.0	96.9	95.9	98.0	98.9	100.9	△ 5	A	A	E	E	新型コロナウイルス感染症に係る病床確保補助金等がなくなったことなどにより収入が減少した一方で、人件費、物価高騰等に伴い材料費、委託料等が増加したため、経常収支比率は低下した。
			実績	96.7	108.0	109.2	107.3	96.5	94.1	△ 2						
47	医業収支比率	%	計画	89.4	93.0	86.8	87.9	90.1	91.0	93.1	△ 2	B	E	C	D	高度医療の提供などにより医業収益は増加したものの、それを上回る人件費、物価高騰に伴う材料費・委託料等の増加により、医業収支比率は低下した。
			実績	87.7	86.1	89.9	87.3	89.0	88.6	△ 0						
48	材料費対医業収益比率	%	計画	31.0	30.3	33.5	33.2	33.0	32.9	32.8	3	E	E	E	C	高度医療の提供などにより医業収益及び診療材料費が増加した結果、医業収益に占める材料費の比率は横ばいとなった。
			実績	33.7	33.3	34.8	34.9	35.5	35.5	0						
49	うち 薬品費対医業収益比率	%	計画	16.3	15.9	17.9	17.9	17.8	17.8	17.7	1	A	E	E	C	高額な抗がん剤などの使用があるものの、通院治療センター患者数の減により、薬品費は微増となった。一方で、入院を含む医業収益は増加しており、医業収益に占める薬品費の比率は低下した。
			実績	17.6	17.5	17.7	18.4	18.8	18.5	△ 0						
50	うち 診療材料費対医業収益比率	%	計画	14.5	14.2	15.4	15.2	15.0	14.9	14.9	2	E	C	E	E	高額な診療材料を使用する高額手術件数が増加したことなどにより、診療材料費は増加した。医業収益に占める診療材料費の比率は上昇した。
			実績	15.9	15.7	16.9	16.4	16.5	16.9	0						

中期実施計画の主な取組

丸亀病院

区分	令和6年度の主な取組	令和7年度の主な取組予定
1 良質な医療サービスの提供	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急医療への対応⇒輪番制(16件)、精神科救急拠点病院(25件)、救急情報センター(11件) 措置入院患者の受入れ(4名) ・治療抵抗性統合失調症対応薬による治療(3件) アルコール依存症集団療法の実施(1クール10回×2クール) 試験的な送迎サービスも踏まえたデイケアの推進(延べ5,307名) 訪問看護の積極実施(延べ729名) <p>②地域連携の充実・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 紹介医療機関 89(紹介件数157件) 中央病院・白鳥病院への医師派遣(中央病院(2回/週)、白鳥病院(1回/週)) <p>③医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全カンファレンス(1回/週)における対応策の検討や研修等の実施による資質の向上(6回/年) クリニカルパスの適用推進(156人、88.6%)や運用マニュアルの作成、見直し <p>④患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者満足度調査(R7. 1月)及び外来待ち時間調査(R6. 6月及びR7. 2月)の実施 こころの相談窓口など看護相談の実施(228件) ・「患者意見箱」設置による意見収集(168件) <p>⑤地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護学校への講師派遣(延べ13名) ・自治体や団体等への講師派遣(延べ35名) 公的医療機関への診療応援(高松市立みんなの病院(1回/週)等) 	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急医療への対応⇒輪番制、精神科救急拠点病院、救急情報センターとしての対応 専門外来の継続実施(児童・思春期外来 2回/週) ・措置入院患者の受入れ 治療抵抗性統合失調症対応薬による治療 ・アルコール依存症集団療法の実施 送迎サービスの本格実施も踏まえたデイケアの推進や訪問看護の積極実施 <p>②地域連携の充実・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の医療機関等との情報交換も含めた患者対応の推進 中央病院・白鳥病院への医師派遣(中央病院・白鳥病院) <p>③医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全カンファレンスにおける対応策の検討や、研修等の実施による資質の向上 栄養サポート(ミールラウンド)(1回/週)、NSTカンファレンス(1回/月)の実施 クリニカルパスの適用推進(クリニカルパス委員会を中心とした運用マニュアルの適宜見直し) <p>④患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者満足度調査及び外来待ち時間調査(年2回)の実施 こころの相談窓口など看護相談の実施 ・「患者意見箱」設置による意見収集 <p>⑤地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護学校への講師派遣 ・自治体や団体等への講師派遣 公的医療機関への診療応援(中央病院、白鳥病院、高松市立みんなの病院 等)
2 医療人材の確保・育成	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒後臨床研修医の受入れ(延べ15名)、医学部学生臨床実習の受入れ(延べ4名) <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護学生の受入れ 延べ8機関(1,530名) ・認定看護管理者教育研修等への職員派遣(延べ3名) <p>④勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の満足度調査の実施(R7. 1月)や、業務の効率化等を目的とした職員提案の実施(提案件数10件) 	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 関連大学との連携強化 ・卒後臨床研修医の受入れ、医学部学生臨床実習の受入れ <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護学生の受入れ ・認定看護管理者教育研修等への職員派遣 <p>④勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の満足度調査や業務の効率化等を目的とした職員提案の実施、超過勤務の縮減
3 感染症・災害等への対応力の強化	<p>①感染症対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 院内感染防止委員会を中心としたマニュアルの見直しや感染予防に係る研修の実施(2回) 感染管理認定看護師の育成(1名) <p>②大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> DPAT研修等への参加(1回)や派遣に備えての必要な資機材の整備 院内合同避難訓練実施(2回/年) ・部署別防災訓練の実施(10回/年) 	<p>①感染症対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 結核患者収容モデル事業による「モデル病床」の継続 院内感染防止委員会を中心としたシミュレーションや研修の実施など 感染防止対策の充実 <p>②大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> DPAT研修等への参加や派遣に備えての必要な資機材の整備 院内合同避難訓練実施(2回/年) ・部署別防災訓練の実施(10回/年)
4 安定的な病院経営の確立	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者数の動向や収益の状況などについて、状況と対策の共有化を図る「運営会議」(1回/月)の開催 <p>②運営体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 院内環境改善・整備の取組みの充実(適宜) <p>③収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的な受け入れ強化による新規入院患者獲得(新規入院患者数176名) デイケア送迎サービスの試験的実施など外来患者増の推進(延べ29,259名) 訪問看護件数増を図るために外来事務職員を増員 <p>④費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> 超過勤務の縮減(1人当たり平均R5:6.8時間⇒R6:5.8時間/月) 	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者数の動向や収益の状況などについて、状況と対策の共有化を図る「運営会議」の開催 <p>②運営体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 院内環境改善・整備の取組みの充実(適宜) <p>③収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的な受け入れ強化による新規入院患者増の推進 デイケア送迎サービスの本格実施などによる外来患者増の推進 訪問看護の積極実施 ・ベッドコントロール委員会、2・4病棟の男女混合病棟化による効率的な病床運用 <p>④費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> 薬品費、診療材料費の節減 ・超過勤務の縮減 ・一般競争入札による電力調達の見直し

収支計画の達成状況

(「R6計画差」はR6計画額とR6実績額の差、
「R6前年度差」はR5実績額とR6実績額の差を表す。)

丸亀病院

(単位 百万円)

		第3次←		→第4次						(単位 百万円)	
項目	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6計画差	計画差の要因、取組等	
									R6前年度差		
①収益的収支											
収益計 (A)	計画	1,709	1,706	1,665	1,663	1,687	1,695	1,704	△ 169		
	実績	1,552	1,825	1,578	1,555	1,534	1,526		△ 8		
医業収益 (A1)	計画	1,096	1,103	1,013	1,024	1,031	1,038	1,047	△ 163		
	実績	947	910	915	898	885	875		△ 10		
入院収益	計画	687	694	669	677	682	687	693	△ 126	長期入院患者の死亡や地域移行により、慢性期患者が減少したため。	
	実績	590	583	587	572	574	561		△ 13		
外来収益	計画	360	360	299	302	304	306	309	△ 42	デイケア患者数の増加等による外来患者数増、診療報酬改定等による単価増により前年度比増加するも、計画を下回った。	
	実績	310	282	283	273	259	264		5		
その他医業収益	計画	49	49	45	45	45	45	45	5		
	実績	47	45	45	53	52	50		△ 2		
一般会計負担金	計画	22	22	19	19	19	19	19	5		
	実績	20	19	17	25	26	24		△ 2		
その他	計画	27	27	26	26	26	26	26	0		
	実績	27	26	28	28	26	26		0		
医業外収益 (A2)	計画	613	603	652	639	656	657	657	△ 6		
	実績	605	709	662	656	648	651		3		
一般会計繰入金	計画	559	559	603	603	603	603	603	△ 15		
	実績	558	533	555	563	578	588		10		
負担金	計画	559	559	603	603	603	603	603	△ 16		
	実績	558	533	555	563	574	587		13		
補助金	計画	0	0	0	0	0	0	0	1		
	実績	0	0	0	0	4	1		△ 3		
長期前受金戻入	計画	38	28	27	31	48	49	49	3		
	実績	38	28	27	30	50	52		2		
その他医業外収益	計画	16	16	22	5	5	5	5	6		
	実績	9	148	80	63	20	11		△ 9		
特別利益	計画	0	0	0	0	0	0	0	0		
	実績	0	206	1	1	1	0		△ 1		

長期入院患者の死亡や地域移行により、慢性期患者が減少したため。

デイケア患者数の増加等による外来患者数増、診療報酬改定等による単価増により前年度比増加するも、計画を下回った。

収支計画の達成状況

(「R6計画差」はR6計画額とR6実績額の差、
「R6前年度差」はR5実績額とR6実績額の差を表す。)

丸亀病院

(単位 百万円)

		第3次←		→第4次						(単位 百万円)	
項目	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6計画差	計画差の要因、取組等	
									R6前年度差		
費用計 (B)	計画	1,863	1,858	1,849	1,856	1,856	1,883	1,860	61		
	実績	1,736	1,793	1,777	1,843	1,906	1,944		38		
医業費用 (B1)	計画	1,816	1,806	1,799	1,806	1,805	1,833	1,810	60		
	実績	1,696	1,724	1,733	1,798	1,858	1,893		35		
給与費	計画	1,083	1,087	1,182	1,178	1,154	1,182	1,156	60		
	実績	1,030	1,154	1,174	1,224	1,232	1,242		10		
退職給付費	計画	91	95	78	81	56	81	56	6		
	実績	69	79	80	83	87	87		0		
退職給付費以外	計画	992	992	1,104	1,097	1,098	1,101	1,100	54	人事委員会勧告による給与増額改定や会計年度任用職員への勤勉手当の支給開始に伴い増加した。	
	実績	961	1,075	1,094	1,141	1,145	1,155		10		
材料費	計画	208	208	197	197	197	197	197	△ 59		
	実績	178	180	162	145	140	138		△ 2		
薬品費	計画	197	197	184	184	184	184	184	△ 54		
	実績	169	165	152	136	131	130		△ 1		
診療材料費	計画	9	9	11	11	11	11	11	△ 3		
	実績	7	13	8	8	7	8		1		
経費	計画	422	422	336	336	336	336	336	54	院内設備の修繕の実施や、R5年度に導入した病院情報システム機器保守委託の開始等により増加した。	
	実績	386	304	318	349	362	390		28		
減価償却費	計画	99	85	74	76	108	109	111	6		
	実績	98	82	74	75	111	115		4		
その他医業費用	計画	4	4	10	19	10	9	10	△ 1		
	実績	4	4	5	5	13	8		△ 5		
医業外費用 (B2)	計画	46	51	49	49	50	49	49	△ 2		
	実績	39	44	44	45	45	47		2		
特別損失	計画	1	1	1	1	1	1	1	3		
	実績	1	25	0	0	3	4		1		
医業収支 (A1-B1)	計画	△ 720	△ 703	△ 786	△ 782	△ 774	△ 795	△ 763	△ 223		
	実績	△ 749	△ 814	△ 818	△ 900	△ 973	△ 1,018		△ 45		
経常収支 (A1+A2)-(B1+B2)	計画	△ 153	△ 151	△ 183	△ 192	△ 168	△ 187	△ 155	△ 227		
	実績	△ 183	△ 149	△ 200	△ 289	△ 370	△ 414		△ 44		
総収支 (X=A-B)	計画	△ 154	△ 152	△ 184	△ 193	△ 169	△ 188	△ 156	△ 230		
	実績	△ 184	32	△ 199	△ 288	△ 372	△ 418		△ 46		

収支計画の達成状況

(「R6計画差」はR6計画額とR6実績額の差、
「R6前年度差」はR5実績額とR6実績額の差を表す。)

丸亀病院

(単位 百万円)

(単位 百万円)										
項目	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6計画差	計画差の要因、取組等
									R6前年度差	
(損益勘定留保資金) (Y)	計画	63	60	50	58	64	64	66	3	
	実績	61	56	49	46	72	67		△ 5	
②資本的収支										
収入計 (C)	計画	113	47	70	258	75	76	76	△ 14	
	実績	92	279	54	267	104	62		△ 42	
企業債	計画	79	24	47	232	33	33	33	△ 15	
	実績	60	25	31	239	55	18		△ 37	
長期借入金	計画	5	5	4	4	3	3	3	△ 2	
	実績	3	2	3	7	8	1		△ 7	
一般会計繰入金	計画	28	18	19	21	38	40	40	3	
	実績	27	19	20	21	41	43		2	
負担金	計画	28	18	18	21	38	39	39	3	
	実績	27	19	18	21	40	42		2	
補助金	計画	0	0	1	0	0	1	1	0	
	実績	0	0	2	0	1	1		0	
その他	計画	1	0	0	1	1	0	0	0	
	実績	2	233	0	0	0	0		0	
支出計 (D)	計画	143	68	87	279	113	115	114	△ 11	
	実績	122	69	72	287	144	104		△ 40	
建設改良費	計画	88	33	52	236	36	36	36	△ 17	
	実績	67	34	37	246	64	19		△ 45	
企業債償還金	計画	50	29	30	37	72	75	75	5	
	実績	50	30	30	36	76	80		4	
その他	計画	5	6	5	6	5	4	3	1	
	実績	5	5	5	5	4	5		1	
収支差し引き (Z=C-D)	計画	△ 30	△ 21	△ 17	△ 21	△ 38	△ 39	△ 38	△ 3	
	実績	△ 30	210	△ 18	△ 20	△ 40	△ 42		△ 2	
③単年度資金収支										
単年度資金収支 (X+Y+Z)	計画	△ 121	△ 113	△ 151	△ 156	△ 143	△ 163	△ 128	△ 230	
	実績	△ 153	298	△ 168	△ 262	△ 340	△ 393		△ 53	

中期指標の達成状況

(評価基準)

A R7計画以上

B 対象年度計画以上

C 前年度実績以上

D R1実績以上

E R1実績未満

※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

丸亀病院

第3次←→第4次 (太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6計画差 R6前年度差	評価 R3	評価 R4	評価 R5	評価 R6	計画差の要因、取組等
1 良質な医療サービスの提供																
①医療機能の充実																
3	救急患者の受入れ数	人	計画	156	156	150	150	150	150	150	5	A	A	A	A	積極的な受け入れにより、計画値を達成。
			実績	146	117	159	207	167	155		△ 12					
4	デイケア患者数	人	計画	7,600	7,600	6,534	6,700	6,800	6,800	6,800	△ 1,493	E	C	E	C	コロナ以降利用者が減少していたが、退院患者へ積極的な利用を促し、前年度比増加。
			実績	6,648	4,404	4,394	4,563	4,511	5,307		796					
5	訪問看護患者数	人	計画	1,100	1,100	968	1,000	1,000	1,000	1,000	△ 271	E	C	E	C	訪問看護の効率的な実施を目指して、訪問範囲や一人当たりの回数を見直したため、前年度比増加。
			実績	992	709	652	802	706	729		23					
②地域連携の充実																
7	患者紹介率	%	計画	14.0	14.0	18.0	18.5	19.0	19.5	20.0	0.7	A	A	A	A	積極的に紹介患者を受け入れたため、計画値を上回っている。
			実績	17.4	17.4	22.3	22.2	20.0	20.2		0.2					
9	患者逆紹介率	%	計画	22.3	22.3	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0	0.5	E	A	A	A	他医療機関への紹介率は計画値を上回っている。
			実績	25.2	26.0	22.7	28.6	33.1	26.5		△ 6.6					
10	紹介(受入)医療機関数	箇所	計画	68	70	60	60	60	60	60	29	A	A	A	A	地域の医療機関等との情報交換も含めた患者対応の推進により増加。
			実績	59	58	67	96	78	89		11					
③医療の安全と質の向上																
13	インシデント報告件数	件	計画	440	450	400	400	400	400	400	14	E	C	D	A	制度の重要性や報告手順について周知徹底したこと で、前年度比増加し、計画値を達成。
			実績	342	365	324	374	357	414		57					
14	クリニカルパス適用率	%	計画	98.0	98.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	△ 1.0	E	C	A	D	身体合併症等で他院に転医の患者が再入院した場合、パス適応外となるが、その患者が多かったため、 計画に満たなかった。
			実績	89.0	89.0	82.0	82.0	90.0	89.0		△ 1.0					
④患者サービスの向上																
17	外来待ち時間の短縮 (受付時間～診療開始)	分	計画	15	15	15	15	15	15	15	△ 2.6	A	E	C	A	新患対応可能な若手医師が増え、計画的な受け入れ 態勢が整えられたことで、待ち時間短縮し、計画値を 達成。
			実績	15.3	15.0	13.1	15.9	15.6	12.4		△ 3.2					
⑤地域医療への貢献																
18	公開講座等開催回数	回	計画	2	2	1	2	2	2	2	△ 2	C	C	C	C	新型コロナウイルスの感染状況を注視する必要があり、 令和6年度も実施を見送った。
			実績	2	0	0	0	0	0		0					

中期指標の達成状況

(評価基準)

A R7計画以上

B 対象年度計画以上

C 前年度実績以上

D R1実績以上

E R1実績未満

※減少期待指標は、以上を以下、未滿を超に読み替える。

丸亀病院

第3次←→第4次 (太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6計画差 R6前年度差	評価 R3	評価 R4	評価 R5	評価 R6	計画差の要因、取組等
2 医療人材の確保・育成																
②医療スタッフの確保・育成																
22	実習生受入人数(看護師)	人	計画	290	290	240	280	280	280	280	△ 79	E	C	C	C	実習カリキュラムの変更により、精神科病院での実習が減少しているため、計画を下回っている。
			実績	283	143	134	187	198	201		3					
23	実習生受入人数(その他)	人	計画	15	15	10	10	10	10	10	△ 7	E	E	C	E	先方の都合によるキャンセルが複数あったため、前年度比減少。
			実績	11	10	2	1	7	3		△ 4					
3 感染症・災害等への対応力の強化																
①感染症対策の強化																
25	感染症に対応する体制の確保	－	計画	(新設)	－	確保	確保	確保	確保	確保	－	A	A	A	A	確保できている。
			実績	(新設)	確保	確保	確保	確保	確保	確保	－					
②大規模災害への対応力の強化																
27	DPAT(災害派遣精神医療チーム)数	チーム	計画	(新設)	－	4	4	4	4	4	△ 1	A	A	E	C	「精神保健指定医」医師の減少による。
			実績	(新設)	4	4	4	3	3		0					
28	業務継続計画(BCP)に沿った研修・訓練の実施数	回	計画	(新設)	－	1	1	1	1	1	0	A	A	A	A	計画通り、実施した。
			実績	(新設)	1	1	1	1	1		0					
29	防災訓練回数(法定分を除く)	回	計画	11	11	11	11	11	11	11	0	A	A	A	A	計画通り、基本的に毎月1回訓練を実施した。
			実績	11	11	12	11	11	11		0					
4 安定的な病院経営の確立																
③収益の確保																
32	稼働病床利用率	%	計画	75.6	75.6	70.5	70.5	70.5	70.5	70.5	△ 16.3	C	E	C	E	長期入院患者の死亡や地域移行により、慢性期患者が減少していることによる。
			実績	61.1	58.5	59.5	57.7	57.7	54.2		△ 3.5					
7	患者紹介率(再掲)	%	計画	14.0	14.0	18.0	18.5	19.0	19.5	20.0	0.7	A	A	A	A	(再掲)積極的に紹介患者を受け入れたため、計画値を上回っている。
			実績	17.4	17.4	22.3	22.2	20.0	20.2		0.2					
9	患者逆紹介率(再掲)	%	計画	22.3	22.3	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0	0.5	E	A	A	A	(再掲)他医療機関への紹介率は計画値を上回っている。
			実績	25.2	26.0	22.7	28.6	33.1	26.5		△ 6.6					
34	入院単価	円	計画	15,900	16,120	16,661	16,869	16,957	17,129	17,259	1,037	A	A	A	A	診療報酬改定による増加。
			実績	16,916	17,518	17,332	17,431	17,426	18,166		740					
35	外来単価	円	計画	10,315	10,315	9,801	9,916	9,828	9,743	9,661	△ 721	A	E	E	C	診療報酬改定による増加。
			実績	9,785	10,013	9,831	9,077	8,864	9,022		158					

中期指標の達成状況

(評価基準)
A R7計画以上
B 対象年度計画以上
C 前年度実績以上
D R1実績以上
E R1実績未満
※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

丸亀病院

第3次←→第4次 (太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6計画差	評価 R3	評価 R4	評価 R5	評価 R6	計画差の要因、取組等
											R6前年度差					
36	1日平均入院患者数	人	計画	118	118	110	110	110	110	110	△ 25	C	E	C	E	長期入院患者の死亡や地域移行により、慢性期患者が減少していることによる。
			実績	95	91	93	90	90	85		△ 5					
37	1日平均外来患者数	人	計画	143	144	126	126	128	130	132	△ 10	C	C	E	C	外来患者が減る一方、デイケア患者が増加したことにより前年度比変動なし。
			実績	132	116	119	124	120	120		0					
38	新入院患者数	人	計画	192	192	160	168	168	168	168	8	D	A	D	A	入院患者の積極的な受け入れにより、前年度比増加し、計画を上回っている。
			実績	140	157	140	177	159	176		17					
39	新外来患者数	人	計画	624	624	470	550	600	600	600	△ 2	A	A	E	C	新患予約枠の拡大による、精神患者の増加。
			実績	603	568	622	655	576	598		22					
3	救急患者の受入れ数(再掲)	人	計画	156	156	150	150	150	150	150	5	A	A	A	A	(再掲)積極的な受け入れにより、計画値を達成。
			実績	146	117	159	207	167	155		△ 12					
41	平均在院日数	日	計画	222.1	221.5	254.8	239.0	239.0	239.0	239.0	△ 62.1	A	A	A	A	入院患者全体に占める急性期患者の割合が増加し、早期に退院する患者が増加した。
			実績	237.4	217.7	237.7	186.0	200.2	176.9		△ 23.3					
④費用の適正化																
42	後発医薬品割合(数量ベース)	%	計画	34.0	35.0	65.0	70.0	75.0	80.0	80.0	5.0	B	B	A	A	積極的な後発品の採用に努めた。
			実績	38.9	61.7	67.4	78.6	83.1	85.0		1.9					
43	人件費比率(退職給付費を除く) [対医薬収益比率]	%	計画	90.5	89.8	109.1	107.1	106.4	105.9	105.1	26.1	E	E	E	E	患者数減少による医薬収益の減少、人事委員会勧告の給与増額改定等による人件費増加から、人件費比率は悪化(上昇)した。
			実績	101.6	118.1	119.6	127.1	129.4	132.0		2.6					
44	人件費比率 [対医薬収益比率]	%	計画	98.8	98.5	116.8	115.0	111.8	113.7	110.4	28.2	E	E	E	E	患者数減少による医薬収益の減少、人事委員会勧告の給与改定等による人件費増加から、人件費比率は悪化(上昇)した。
			実績	108.9	126.8	128.3	136.3	139.2	141.9		2.7					
46	経常収支比率	%	計画	91.8	91.9	90.1	89.7	91.0	90.1	91.6	△ 11.4	E	E	E	E	患者数減少による医薬収益の減少、人件費増加等により経常収支比率が悪化(低下)した。
			実績	89.5	91.6	88.7	84.3	80.6	78.7		△ 1.9					
47	医薬収支比率	%	計画	60.4	61.1	56.3	56.7	57.2	56.7	57.8	△ 10.5	C	E	E	E	患者数減少による医薬収益の減少、人件費増加等により経常収支比率が悪化(低下)した。
			実績	55.8	52.8	52.8	49.9	47.6	46.2		△ 1.4					
48	材料費対医薬収益比率	%	計画	18.9	18.9	19.4	19.2	19.1	18.9	18.8	△ 3.1	A	A	A	A	前年度並み。後発医薬品の採用を継続することで薬品費を抑制し計画値を達成した。
			実績	18.7	19.8	17.7	16.1	15.8	15.8		0.0					
49	うち 薬品費対医薬収益比率	%	計画	17.9	17.9	18.1	17.9	17.8	17.7	17.5	△ 2.8	A	A	A	A	前年度並み。後発医薬品の採用を継続することで薬品費を抑制し計画値を達成した。
			実績	17.8	18.2	16.6	15.1	14.8	14.9		0.1					
50	うち 診療材料費対医薬収益比率	%	計画	0.8	0.8	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	△ 0.2	A	A	A	A	前年度並み。診療材料費に大きな変動なく、計画値を達成した。
			実績	0.7	1.4	0.9	0.9	0.8	0.9		0.1					

中期実施計画の主な取組

白鳥病院

区分	令和6年度の主な取組	令和7年度の主な取組予定
1 良質な医療サービスの提供	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師の宿日直体制の維持、訪問診療、訪問看護の継続実施 心臓カテーテル治療や化学療法、各種専門外来など、地域で完結できる質の高い急性期医療の提供 地域包括ケア病床の積極的な運用 <p>②地域連携の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> K-MIXRによる地域全体の診療の質の向上 中央病院との相互連携(患者紹介)強化 <p>③医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全対策の推進、院内感染防止対策の推進 医科歯科連携の実施 <p>④患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページによる広報、患者満足度調査(1回/年)の実施 <p>⑤地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> 五名地区でのへき地医療の継続 市民公開講座等の開催 	<p>①医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師の宿日直体制の維持、訪問診療、訪問看護の継続実施 心臓カテーテル治療や化学療法、各種専門外来など、地域で完結できる質の高い急性期医療の提供 地域包括ケア病床の積極的な運用 <p>②地域連携の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> K-MIXRによる地域全体の診療の質の向上 中央病院との相互連携(患者紹介)強化 <p>③医療の安全と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全対策の推進、院内感染防止対策の推進 医科歯科連携の実施 <p>④患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページによる広報、患者満足度調査(1回/年)の実施 <p>⑤地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> 五名地区でのへき地医療の継続 市民公開講座等の開催
2 医療人材の確保・育成	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院局との連携による医師確保のための積極的活動 大学との連携を強化し、継続的な医師の派遣を要請 <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> シャドーイング体験会の実施 ハローワークやホームページによる求人、人材紹介会社の活用など <p>④勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師事務作業補助者や看護補助者の適正な配置による医師や看護師の負担軽減 	<p>①医師の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院局との連携による医師確保のための積極的活動 大学との連携を強化し、継続的な医師の派遣を要請 <p>②医療スタッフの確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> シャドーイング体験会の実施 ハローワークやホームページによる求人、人材紹介会社の活用など <p>④勤務環境等の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師事務作業補助者や看護補助者の適正な配置による医師や看護師の負担軽減
3 感染症・災害等への対応力の強化	<p>①感染症対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 発熱外来の実施 新型コロナウイルス感染症の入院、転院受け入れ 新興感染症協定締結機関として、新興感染症発生時の病床確保 感染対策向上加算1施設のさぬき市民病院が主催する感染対策合同カンファレンスに参加 感染対策向上加算に係る連携施設(さぬき市民病院)からの感染対策に対しての指導を実施 <p>②大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 自施設および感染防止対策連携合同カンファレンスにおいて、新興感染症に対する訓練を実施 	<p>①感染症対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 発熱外来の実施 新型コロナウイルス感染症の入院、転院受け入れ 新興感染症協定締結機関として、新興感染症発生時の病床確保を継続 感染対策向上加算1施設のさぬき市民病院が主催する感染対策合同カンファレンスに参加 感染対策向上加算に係る連携施設(さぬき市民病院)からの施設ラウンドを実施 <p>②大規模災害への対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務継続計画(BCP)に基づく訓練の実施 自施設および感染防止対策連携合同カンファレンスにおいて、新興感染症に対する訓練を実施
4 安定的な病院経営の確立	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営委員会における経営情報の共有 <p>③収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケア病床の積極的な運用による病床稼働率の向上 新たな施設基準取得 人間ドックオプション検査の積極的な広報 医事体制強化による地域連携の推進 <p>④費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> 後発医薬品の採用拡大による薬品費の節減 	<p>①経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営委員会における経営情報の共有 <p>③収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケア病床の積極的な運用による病床稼働率の向上 新たな施設基準取得 人間ドックオプション検査の積極的な広報 医事体制強化による地域連携の推進 <p>④費用の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> 後発医薬品の採用拡大による薬品費の節減

収支計画の達成状況

(「R6計画差」はR6計画額とR6実績額の差、
「R6前年度差」はR5実績額とR6実績額の差を表す。)

白鳥病院

(単位 百万円)

(単位 百万円)										
項目	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6計画差	計画差の要因、取組等
									R6前年度差	
①収益的収支										
収益計 (A)	計画	3,172	3,207	2,947	2,910	2,928	2,978	2,998	△ 421	
	実績	2,656	3,006	2,950	2,795	2,620	2,557		△ 63	
医業収益 (A1)	計画	2,800	2,837	2,302	2,424	2,442	2,462	2,480	△ 422	
	実績	2,257	2,072	2,214	2,112	2,154	2,040		△ 114	
入院収益	計画	1,686	1,723	1,514	1,624	1,637	1,649	1,661	△ 343	前年度から延入院患者数は増加した一方、主に手術料や入院料が減少し、入院単価が減少したため
	実績	1,428	1,316	1,471	1,321	1,377	1,306		△ 71	
外来収益	計画	978	978	672	684	689	697	703	△ 65	延外来患者数が減少したことに加え、主に注射料収入が減少し、外来単価も減少したため
	実績	715	652	625	681	673	632		△ 41	
その他医業収益	計画	136	136	116	116	116	116	116	△ 14	
	実績	114	104	118	110	104	102		△ 2	
一般会計負担金	計画	60	60	50	50	50	50	50	0	
	実績	51	47	47	49	51	50		△ 1	
その他	計画	76	76	66	66	66	66	66	△ 14	
	実績	63	57	71	61	53	52		△ 1	
医業外収益 (A2)	計画	368	361	632	486	480	510	509	0	
	実績	396	865	723	683	459	510		51	
一般会計繰入金	計画	209	208	359	359	359	359	359	△ 14	
	実績	240	336	327	345	333	345		12	
負担金	計画	209	208	359	359	359	359	359	△ 15	
	実績	240	336	327	345	329	344		15	
補助金	計画	0	0	0	0	0	0	0	1	
	実績	0	0	0	0	4	1		△ 3	
長期前受金戻入	計画	130	125	126	106	99	130	129	18	
	実績	131	130	129	105	102	148		46	
その他医業外収益	計画	29	28	147	21	22	21	21	△ 4	
	実績	25	399	267	233	24	17		△ 7	
特別利益	計画	4	9	13	0	6	6	9	1	
	実績	3	69	13	0	7	7		0	

収支計画の達成状況

(「R6計画差」はR6計画額とR6実績額の差、
「R6前年度差」はR5実績額とR6実績額の差を表す。)

白鳥病院

(単位 百万円)

		第3次←		→第4次							(単位 百万円)
項目	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6計画差	計画差の要因、取組等	
									R6前年度差		
費用計 (B)	計画	3,263	3,267	3,173	3,113	3,064	3,151	3,116	154		
	実績	3,055	3,111	3,064	3,097	3,199	3,305		106		
医業費用 (B1)	計画	3,113	3,109	3,029	2,972	2,925	3,014	2,981	140		
	実績	2,921	2,919	2,926	2,960	3,007	3,154		147		
給与費	計画	1,536	1,542	1,696	1,690	1,654	1,696	1,657	42		
	実績	1,437	1,628	1,638	1,698	1,678	1,738		60		
退職給付費	計画	137	143	116	121	84	121	84	9		
	実績	104	118	120	124	131	130		△ 1		
退職給付費以外	計画	1,399	1,399	1,580	1,569	1,570	1,575	1,573	33	人事委員会勧告や会計年度任用職員への勤勉手当の支給開始に伴い支給額が増加したため	
	実績	1,333	1,510	1,518	1,574	1,547	1,608		61		
材料費	計画	718	718	498	502	492	495	497	△ 27		
	実績	503	478	464	455	509	468		△ 41		
薬品費	計画	298	298	225	226	226	227	227	△ 6	化学療法件数の減少に伴い、高額な抗がん剤の消費が減少したため	
	実績	215	208	192	213	236	221		△ 15		
診療材料費	計画	417	417	270	273	263	265	267	△ 22	心臓カテーテル手術件数の減少に伴い、ペースメーカーや電極カテーテル等の高額材料の消費が減少したため	
	実績	285	267	270	238	270	243		△ 27		
経費	計画	583	583	549	549	549	549	549	86	院内設備の修繕を実施したため	
	実績	699	539	557	582	598	635		37		
減価償却費	計画	259	249	243	201	184	245	242	30		
	実績	261	254	244	197	184	275		91		
その他医業費用	計画	17	17	43	30	46	29	36	9		
	実績	21	20	23	28	38	38		0		
医業外費用 (B2)	計画	141	149	143	141	139	137	135	7		
	実績	133	139	137	137	143	144		1		
特別損失	計画	9	9	1	0	0	0	0	7		
	実績	1	53	1	0	49	7		△ 42		
医業収支 (A1-B1)	計画	△ 313	△ 272	△ 727	△ 548	△ 483	△ 552	△ 501	△ 562		
	実績	△ 664	△ 847	△ 712	△ 848	△ 853	△ 1,114		△ 261		
経常収支 (A1+A2)-(B1+B2)	計画	△ 86	△ 60	△ 238	△ 203	△ 142	△ 179	△ 127	△ 569		
	実績	△ 401	△ 121	△ 126	△ 302	△ 537	△ 748		△ 211		
総収支 (X=A-B)	計画	△ 91	△ 60	△ 226	△ 203	△ 136	△ 173	△ 118	△ 575		
	実績	△ 399	△ 105	△ 114	△ 302	△ 579	△ 748		△ 169		

収支計画の達成状況

(「R6計画差」はR6計画額とR6実績額の差、
「R6前年度差」はR5実績額とR6実績額の差を表す。)

白鳥病院

(単位 百万円)

(単位 百万円)										
項目	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6計画差	計画差の要因、取組等
									R6前年度差	
(損益勘定留保資金) (Y)	計画	136	126	136	113	113	126	129	29	
	実績	143	128	120	115	149	155		6	
②資本的収支										
収入計 (C)	計画	188	174	350	177	517	150	291	396	
	実績	217	234	295	203	696	546		△ 150	
企業債	計画	44	28	112	79	419	21	160	347	
	実績	73	42	105	81	568	368		△ 200	
長期借入金	計画	12	12	11	8	8	8	9	7	
	実績	4	3	2	5	3	15		12	
一般会計繰入金	計画	132	133	131	90	90	120	121	43	
	実績	132	146	188	117	124	163		39	
負担金	計画	132	133	131	90	90	120	121	13	
	実績	132	146	130	89	88	133		45	
補助金	計画	0	0	0	0	0	0	0	30	
	実績	0	0	58	28	36	30		△ 6	
その他	計画	0	1	96	0	0	1	1	△ 1	
	実績	8	43	0	0	1	0		△ 1	
支出計 (D)	計画	321	308	440	266	606	271	411	408	
	実績	350	374	426	291	784	679		△ 105	
建設改良費	計画	57	41	178	87	427	29	169	385	MR装置システム、血管造影X線診断装置等を更新したため
	実績	86	96	165	114	607	414		△ 193	
企業債償還金	計画	252	254	249	167	168	231	236	27	
	実績	252	264	249	167	167	258		91	
その他	計画	12	13	13	12	11	11	6	△ 4	
	実績	12	14	12	10	10	7		△ 3	
収支差し引き (Z=C-D)	計画	△ 133	△ 134	△ 90	△ 89	△ 89	△ 121	△ 120	△ 12	
	実績	△ 133	△ 140	△ 131	△ 88	△ 88	△ 133		△ 45	
③単年度資金収支										
単年度資金収支 (X+Y+Z)	計画	△ 88	△ 68	△ 180	△ 179	△ 112	△ 168	△ 109	△ 558	
	実績	△ 389	△ 117	△ 125	△ 275	△ 518	△ 726		△ 208	

中期指標の達成状況

(評価基準)

A R7計画以上

B 対象年度計画以上

C 前年度実績以上

D R1実績以上

E R1実績未満

※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

白鳥病院

第3次←→第4次 (太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6計画差	評価	評価	評価	評価	計画差の要因、取組等
											R6前年度差	R3	R4	R5	R6	
1 良質な医療サービスの提供																
①医療機能の充実																
1	救急車受入(搬入)患者数	人	計画	945	950	580	600	630	660	700	△ 179	B	E	E	E	救急対応できる医師が不足したため。
			実績	640	562	584	542	537	481		△ 56					
2	高額手術件数(6,000点以上)	件	計画	1,070	1,100	710	725	745	770	800	△ 104	C	E	C	E	整形外科では増加したものの、内科・外科でそれ以上に減少したことから、対前年度比では減少し、計画も下回った。
			実績	833	697	697	609	675	666		△ 9					
5	訪問看護患者数	人	計画	600	600	400	450	500	550	600	81	B	E	E	A	訪問看護の仕組みやケア内容を院内スタッフ間で説明・周知し、患者紹介を促進する等、取組を継続して行ったため。
			実績	667	385	434	433	407	631		224					
6	訪問診療患者数	人	計画	268	270	300	300	300	300	300	37	A	A	A	A	R2年度以降、訪問診療を積極的に実施しているため。
			実績	198	364	345	385	344	337		△ 7					
②地域連携の充実																
7	患者紹介率	%	計画	22.8	23.0	31.0	32.0	33.0	34.0	35.0	7.9	A	A	A	A	積極的に紹介患者を受け入れたため。
			実績	29.1	45.4	41.5	36.6	37.9	41.9		4.0					
9	患者逆紹介率	%	計画	16.4	17.3	26.5	27.5	28.5	29.5	30.5	△ 6.3	E	C	C	E	延外来患者数の減少に伴い、外来の逆紹介患者が減少したため。
			実績	25.6	25.2	21.5	23.4	27.3	23.2		△ 4.1					
10	紹介(受入)医療機関数	箇所	計画	240	245	200	200	200	200	200	7	E	E	C	A	新たに紹介のあった医療機関数が増加したため。
			実績	209	186	181	178	198	207		9					
③医療の安全と質の向上																
13	インシデント報告件数	件	計画	520	550	440	460	490	520	550	△ 67	C	B	D	C	計画値には達していないが、医療安全推進委員会での積極的な報告を推進したことにより、前年度よりやや増加した。
			実績	360	406	438	503	440	453		13					
14	クリニカルパス適用率	%	計画	46.0	46.0	46.0	46.0	46.0	46.0	46.0	△ 20.2	D	E	E	E	適用率の高い心臓カテーテル件数や外科手術件数が減少したため。
			実績	41.1	43.0	41.1	35.9	29.9	25.8		△ 4.1					
④患者サービスの向上																
17	外来待ち時間の短縮 (予約開始期～診療開始)	分	計画	42	40	37	37	37	37	37	△ 4.5	A	A	A	A	前年度から待ち時間は伸びたものの、計画は上回った。
			実績	40.9	37.4	30.1	26.5	29.5	32.5		3.0					
⑤地域医療への貢献																
18	公開講座等開催回数	回	計画	16	16	0	8	16	16	16	△ 6	B	C	C	C	コロナウイルスの影響で中止していた生活習慣病教室を再開したが、計画を下回った。
			実績	18	0	0	0	2	10		8					

中期指標の達成状況

(評価基準)

A R7計画以上

D R1実績以上

B 対象年度計画以上

E R1実績未満

C 前年度実績以上

※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

白鳥病院

第3次←→第4次 (太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6計画差 R6前年度差	評価 R3	評価 R4	評価 R5	評価 R6	計画差の要因、取組等
2 医療人材の確保・育成																
②医療スタッフの確保・育成																
22	実習生受入人数(看護師)	人	計画	45	46	50	50	55	55	60	11	A	A	A	A	計画より上回っているが、学生数の減少が受け入れ人数の減少に繋がったものと考えられる。
			実績	86	36	136	69	77	66		△ 11					
23	実習生受入人数(その他)	人	計画	14	14	6	6	6	6	6	△ 2	A	A	A	D	作業療法士の実習生の減少により、計画を下回った。
			実績	3	5	7	7	9	4		△ 5					
3 感染症・災害等への対応力の強化																
①感染症対策の強化																
25	感染症に対応する体制の確保	—	計画	(新設)	—	確保	確保	確保	確保	確保	—	A	A	A	A	感染症法に基づく第一種/第二種協定指定医療機関として、感染症対応病床4床を引き続き確保している。
			実績	(新設)	確保	確保	確保	確保	確保		—					
②大規模災害への対応力の強化																
28	業務継続計画(BCP)に沿った研修・訓練の実施数	箇所	計画	(新設)	—	1	1	1	1	1	△ 1	E	C	C	C	現在、BCPの見直しを行っているところであり、見直し後、速やかに実施する。
			実績	(新設)	1	0	0	0	0		0					
29	防災訓練回数(法定分を除く)	回	計画		4	4	1	2	3	3	4	C	C	A	A	看護部各部署において、机上訓練やシミュレーションを計画的に実施した。
			実績		2	0	0	0	12	7						
4 安定的な病院経営の確立																
③収益の確保																
32	稼働病床利用率	%	計画		71.0	72.3	68.6	70.3	72.0	74.0	75.5	C	E	E	C	R5年度以降、医師が減少した影響により、入院患者数が減少したため。
			実績		61.9	56.6	61.4	60.3	54.5	56.1						
33	地域包括ケア病床稼働率	%	計画	(新設)	—	90.0	80.0	80.0	80.0	80.0	△ 29.5	C	E	E	E	R5年度以降、医師が減少した影響により、入院患者数が減少したため。
			実績	(新設)	62.7	73.6	67.3	56.2	50.5		△ 5.7					
7	患者紹介率(再掲)	%	0		22.8	23.0	31.0	32.0	33.0	34.0	35.0	A	A	A	A	積極的に紹介患者を受け入れたため。
			計画		29.1	45.4	41.5	36.6	37.9	41.9						
9	患者逆紹介率(再掲)	%	0		16.4	17.3	26.5	27.5	28.5	29.5	30.5	E	C	C	E	延外来患者数の減少に伴い、外来の逆紹介患者が減少し、計画を下回った。
			計画		25.6	25.2	21.5	23.4	27.3	23.2						
34	入院単価	円	計画		43,250	43,500	40,841	42,722	41,958	41,207	40,716	A	E	A	A	手術料、入院料が大幅に減少し、対前年度比で単価は減少したが、計画は上回った。
			実績		42,018	43,004	44,325	40,548	46,680	43,089						
35	外来単価	円	計画		8,548	8,548	9,304	9,176	9,070	8,993	8,894	D	A	A	A	抗がん剤等の注射薬の消費減少に伴い、注射料が減少し、対前年度比で単価は減少したが、計画は上回った。
			実績		8,331	8,922	8,644	9,380	10,477	9,879						

中期指標の達成状況

(評価基準)

A R7計画以上

D R1実績以上

B 対象年度計画以上

E R1実績未満

C 前年度実績以上

※減少期待指標は、以上を以下、未満を超に読み替える。

白鳥病院

第3次←→第4次 (太枠:目標指標)

No.	項目	単位	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6計画差 R6前年度差	評価 R3	評価 R4	評価 R5	評価 R6	計画差の要因、取組等
36	1日平均入院患者数	人	計画	107	109	102	104	107	110	112	△ 27	C	E	E	C	R5年度以降、医師が減少した影響により、入院患者数が減少したため。
			実績	93	84	91	89	81	83		2					
37	1日平均外来患者数	人	計画	469	471	299	307	313	319	326	△ 56	B	C	E	E	R5年度以降、医師が減少した影響により、入院患者数が減少したため。
			実績	358	301	299	299	264	263		△ 1					
38	新入院患者数	人	計画	2,264	2,300	1,720	1,900	1,950	2,000	2,050	△ 555	B	E	E	E	R5年度以降、医師が減少した影響により、入院患者数が減少したため。
			実績	1,899	1,819	1,885	1,651	1,526	1,445		△ 81					
39	新外来患者数	人	計画	11,790	11,900	4,827	5,300	5,600	6,000	6,500	△ 963	B	A	E	E	R5年度以降、医師が減少した影響により、入院患者数が減少したため。
			実績	7,654	4,691	5,659	7,333	5,146	5,037		△ 109					
1	救急車受入(搬入)患者数(再掲)	人	計画	945	950	580	600	630	660	700	△ 179	B	E	E	E	救急対応できる医師が不足したため。
			実績	640	562	584	542	537	481		△ 56					
41	平均在院日数	日	計画	18.0	18.0	21.6	21.0	21.0	21.0	21.0	△ 0.1	C	C	D	C	体調が安定せず、入院が長期化する患者が増加し、計画とほぼ同値となった。
			実績	17.9	16.7	17.7	19.6	19.4	20.9		1.5					
④費用の適正化																
42	後発医薬品割合(数量ベース)	%	計画	77.0	80.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	11.9	A	A	A	A	積極的な後発医薬品の使用に努めたため。
			実績	78.3	84.8	90.9	95.5	95.5	96.9		1.4					
43	人件費比率(退職給付費を除く) [対医薬収益比率]	%	計画	50.0	49.3	68.6	64.8	64.3	64.0	63.5	14.8	B	E	C	E	診療単価減少等による医薬収益の減少と、人事委員会勧告の給与増額改定等による人件費の増加から、人件費比率は悪化(上昇)した。
			実績	59.0	72.8	68.6	74.5	71.8	78.8		7.0					
44	人件費比率 [対医薬収益比率]	%	計画	54.9	54.4	73.7	69.8	67.7	68.9	66.8	16.3	C	E	C	E	診療単価減少等による医薬収益の減少と、人事委員会勧告の給与増額改定等による人件費の増加から、人件費比率は悪化(上昇)した。
			実績	63.6	78.6	74.0	80.4	77.9	85.2		7.3					
46	経常収支比率	%	計画	97.3	98.1	92.5	93.5	95.3	94.3	95.9	△ 17.0	A	D	E	E	医薬収益の減少、人件費増加、院内設備の修繕等による経常支出の増加により、比率は悪化(低下)している。
			実績	86.9	96.0	95.9	90.2	83.0	77.3		△ 5.7					
47	医薬収支比率	%	計画	89.9	91.2	76.0	81.5	83.5	81.7	83.2	△ 17.1	C	E	C	E	医薬収益の減少、人件費増加、院内設備の修繕等による経常支出の増加により、比率は悪化(低下)している。
			実績	77.3	71.0	75.6	71.3	71.6	64.6		△ 7.0					
48	材料費対医薬収益比率	%	計画	25.6	25.3	21.6	20.7	20.1	20.1	20.0	2.8	B	D	E	C	高額な材料を使用する治療件数が減少したことで、比率は低下しているが、計画は達成していない。
			実績	22.3	23.0	21.0	21.5	23.6	22.9		△ 0.7					
49	うち 薬品費対医薬収益比率	%	計画	10.6	10.5	9.8	9.3	9.2	9.2	9.1	1.6	A	E	E	C	抗がん剤等の薬品費が高額な治療件数が減少したことにより、比率は低下したが、計画は達成していない。
			実績	9.5	10.0	8.7	10.1	11.0	10.8		△ 0.2					
50	うち 診療材料費対医薬収益比率	%	計画	14.9	14.7	11.7	11.3	10.8	10.8	10.8	1.1	C	B	D	C	高額な診療材料を使用する手術件数が減少したことにより、比率は低下したが、計画は達成していない。
			実績	12.6	12.9	12.2	11.3	12.5	11.9		△ 0.6					

第 5 次県立病院中期経営目標の骨子(案)について

第5次県立病院中期経営目標の骨子(案)について

1 位置付け

病院開設者である知事と病院経営の責任者である病院事業管理者との合意目標（約束）

※「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン(総務省)」における「公立病院経営強化プラン」

2 期 間

令和8年度から令和12年度までの5年間

3 使 命

県民医療の最後の砦として、高度医療や先進的医療、救急医療、災害医療、精神科医療、へき地医療など、地域に必要な医療を公平・公正に提供し、県民の生命と健康を守り、安心して暮らしやすい香川づくりに貢献する。

4 経営理念

県民医療最後の砦として、県立病院が連携し、持続的・安定的に医療を提供します。

5 基本目標・経営方針

(基本目標)

1 医療の質の向上

質の高い医療を提供し、県民の生命と健康を守る。

(経営方針)

(1) 高度・政策医療で県民を支える

- ① 医療機能の充実
- ② 県立病院の連携強化

(2) 地域とともに歩む

- ① 他の医療機関との連携強化
- ② 地域医療への貢献

(3) 信頼される医療を実現する

- ① 医療の安全と質の向上
- ② 患者サービスの充実

2 変化に対応する力の強化

変化に対応できる組織と職員
の力を高め、将来にわたり県民医療を支える。

(1) 人材を呼び込む

- ① 教育機関との連携推進
- ② 人材確保策の充実

(2) 人材を育てる

- ① 人材育成方針の確立
- ② キャリア形成支援の充実

(3) 人材が活きる環境を築く

- ① 医療DXの推進
- ② 勤務環境整備の推進

3 病院経営基盤の強化

たゆまぬ経営改革を行い、経営
効率と収益性を高め、持続可能な
経営基盤を確立する。

(1) 持続可能な経営基盤を築く

- ① 経営力の強化
- ② 資金収支の改善

(2) 経営効率を高める

- ① 収益の確保
- ② 費用の適正化

(3) 経営資源を活かす

- ① 施設・設備の最適化
- ② 業務運営体制の最適化

6 評価と見直し

(1) 外部評価の実施

(2) 外部環境に対応した見直し